



みやぎ - 71号 -

発行元 独立行政法人国立病院機構宮城病院
 発行責任者 広報委員長 安藤 肇史
 〒989-2202
 宮城県亶理郡山元町高瀬字合戦原100番地
 TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-3316
 ホームページ <http://www.mnh.go.jp/>

新型コロナウイルスワクチンの町民接種が始まりました

院長 永野 功



山元町集団接種（予診）の様子

永野院長（手前）
 菊地内科医院 院長（中央）
 久永副院長（奥）

本院が位置する山元町でも5月26日から、山下駅前のつばめの杜ふれあいホールで、町民対象のファイザー製のmRNAワクチン（コミナティ™）の集団接種が始まりました。集団接種は水木土日に実施されており、町内4か所のクリニックと本院が協力して医師、看護師、薬剤師、事務などの人員派遣を行っています。私は宮城病院にとっての初日である5月27日に予診係を務めました。

山元町の集団接種は広い会場に一人ずつ入れるブースを設置して、受付が済んだ方がブースに座り、そこに医師が順番に回って予診を行って接種可能と判断されれば、その後にワクチンを分注したシリンジを乗せたワゴン台が回り、接種係のベテラン看護師が順番に接種します。接種を受けた方々はそのまま同じ椅子に座って15-30分間待機します。ここに容態観察係が巡回し、アナフィラキシー症状等が出ないか観察します。待機時間が終わり、健康状態に異常がなければ、そのまま入口とは別の出口から帰宅するというやり方です。高齢者の方々については、地区ごとに集まってからバスで会場まで送迎するという方式をとっていました。山元町方式は接種側が動いて回るので足腰が疲れますが、被接種者は動く必要がなく、次は何処か

とまごつくこともなく、接種後待機もその場に座ったままで良いので、地域住民の方々にはおおむね好評なようです。また、こちらが動いていくのも、考えようによっては日頃の運動不足の解消にもなるので、一石二鳥かもしれません。

さて、宮城病院内での個別接種も町の依頼に応じて、6月18日から毎週火曜・金曜で開始しました。町のような広い会場がないので、打つ側が移動するという方法は取れませんが、接種から待機場所までの移動距離を最小限にして容態観察を十分に行うことを心がけています。今のところ、重大な副反応は見られていませんが、職員は常に緊張感を持ってこのプロジェクトを実施しています。

7月末には65歳以上の高齢者が完了し、その後は、小中高生と19-64歳の住民の接種を続ける予定です。ワクチンの供給が順調に行われるかどうか若干の不安はありますがワクチンを受けた方々が重大な副反応もなく新型コロナウイルスに対する十分な免疫を獲得されることを願って、宮城病院の職員は日々この業務に精進しております。



宮城病院個別接種の様子

基本理念

『良い医療を安全に、心を込めて』

行動理念

1. 私たちは生命と人権を尊重し、患者さんを中心とした質の高いチーム医療を推進します。
2. 私たちは難病、重症心身障害など国が担うべき医療と臨床研究を推進します。
3. 私たちは地域の医療・行政機関と連携し、地域の方々の疾病予防や健康の向上に貢献します。
4. 私たちは病院の機能を十分発揮できるよう、健全な経営と経営基盤の強化に努めます。
5. 私たちは常に患者さん方から学び、向上する組織体を目指します。
6. 私たちは常に明るく働きがいのある職場づくりに努めます。



宮城病院公式マスコットキャラクター
 「みやべりー」

コロナ禍の中での看護の日



ナイチンゲールの誕生日である5月12日は、「看護の日」と制定されています。

宮城病院では例年、看護の日に高校生を対象にふれあい看護体験を開催し、看護の楽しさを伝えてきました。また、山下地域交流センターで、血圧測定や健康相談を実施し、地域の皆様との関わりを大切にしていたイベントも行ってきました。しかし、コロナ禍の影響で去年は、予定していた看護の日のイベントを中止せざるを得ませんでした。

そこで今年はコロナ禍でも実施できる企画を考え「看護の心をみんなの心に」というテーマを掲げ、看護職員が「日々大切にしている看護」について、一人一人の思いを模造紙にまとめ、掲示しました。

職員からは、「日頃の大切にしている看護を振り返る機会になった」、「作品を掲示することで明るい雰囲気になった」という意見があり、患者様も足を止めて見てくださっていました。日頃、私たち自身が「看護の心、ケアの心、寄り添いの心」を振り返り、言葉に表し、誰かに伝える機会はありません。現在もコロナ禍で大変ですが、そんな時だからこそ、自身の看護への気持ちを見つめ直すいい機会となりました。

(中央3階病棟副看護師長 横田 聡志)

山元支援学校花いっぱい運動

令和3年5月25日(火)、山元支援学校の方々による「花いっぱい運動」が行われました。

今年も新型コロナウイルス感染防止のため、例年より少人数ではありましたが、生徒の皆さんをはじめ、学校の先生方と力を合わせて色鮮やかな花々を植栽しました。

毎年の恒例行事となっておりますが、生徒の皆さんが楽しそうに植栽をしている姿がとても印象的でした。今年も、正面玄関入口の花壇に植栽しましたので、当院の多くの患者さんに綺麗なお花を見て楽しんでいただけることと思います。

今後も山元支援学校と宮城病院が協力し、学校生活を充実させる活動の一環として、この活動を続けていきたいと考えております。

(管理課給与係 齋藤 星河)



福島県沖地震の復旧状況について



外来管理棟 復旧工事の様子

令和3年2月に発生した福島県沖地震の復旧工事が本格的に始まります。

初めに地震の影響により、外壁等損傷が激しかった外来管理棟増築部分の耐震診断を行い、診療継続が可能か調査を行います。その後は順次、救急外来の外壁補修や救急車停止スペースの解体工事、各病棟等の修繕工事を予定しております。外来診療に影響がないよう土日などの休日を利用して行うため、工事期間が長くなってしまいますが、当院を利用いただいている患者様、ご家族の皆様にご安心いただけるよう、早急な復旧に向けて対応をしていきたいと思っております。

今後も「広報みやぎ」を通じて、進捗状況について報告いたします。

(企画課長 大坂 雄二)

2月13日福島県沖地震発生以降ご寄附状況について

独立行政法人国立病院機構宮城病院へご寄附いただきましてありがとうございました。
重ねてお礼申し上げます。

寄附受領件数 計27名
寄附受領金額 計1,665,000円



心よりお礼申し上げます

FUS開始後1年経ちました

手術件数世界一！？

MRIガイド下集束超音波治療(Focused Ultrasound Surgery; FUS)を開始して約一年経ちました。皆様に本態性振戦やパーキンソン病の患者さんを多くご紹介いただき、これまで順調に手術件数を増やしていくことができました。感謝申し上げます。

これまでの実績を簡単にまとめてみます。手術件数69件、手術予約25件(11月中旬まで手術予約は埋まっています)、相談問合せ件数194件、外来受診数160件です。

また、相談問合せを県別にまとめたものが図1です。

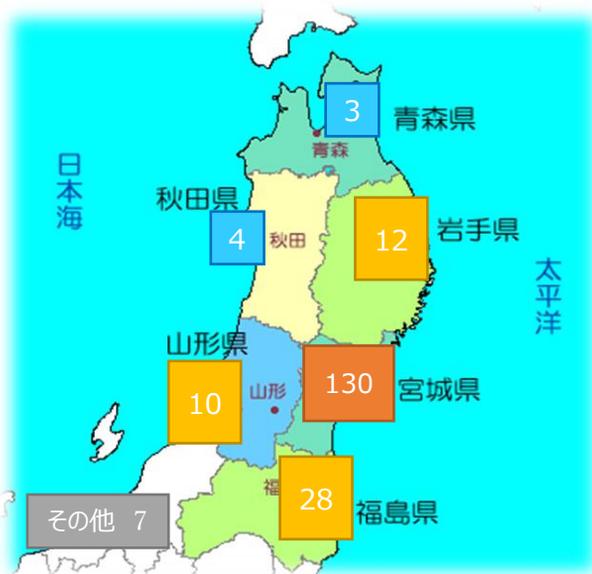


図1

東北地方以外からも患者さんは受診されていますが、やはり圧倒的に宮城県内からの紹介や直接受診が多い状況です。東北地方では当院でしかできない治療ですので、コロナ禍が落ち着けばもう少し遠方からの患者さんも増えると思います。

ちなみに、機器を作製しているINSIGHTTEC社のデータによると半年間の手術件数は当院が世界一でした(アメリカ合衆国を除く)。

頭蓋骨密度が低い場合期待されるレベルまで加温できず十分な効果が得られなかったケースも見られますが、約9割の患者さんで振戦の消失や著減を認めています。やはり観血的治療(脳深部刺激術や凝固術)と比べて患者さんの負担は少ないので、今後とも多くの振戦に困っている患者さんをご紹介いただければ幸いです。

(特命副院長 安藤 肇史)

永年勤続表彰

令和3年6月4日（金）、勤続20年及び30年の方々の永年勤続表彰式が行われました。

今年度は、20年以上永年勤続者9名、30年以上永年勤続者3名の計12名の表彰でした。永きにわたり国立医療機関及び国立病院機構に貢献していただいた受賞者の皆様からは、充実感とこれからの更なる意気込みが感じられました。

受彰されました皆様、おめでとうございます。

（庶務係長 小原 有里）



～30年以上永年勤続者～

大坂 雄二（企画課長）

遊佐 博子（専門職）

今野 直美（看護師）

～20年以上永年勤続者～

熊谷 祐一（細菌血清主任） 水沼 美保（看護師）

伊藤 真弓（看護師長） 浅野 洋子（看護師）

大槻 育恵（副看護師長） 佐藤 千佳（看護師）

谷津 千恵（看護師） 橋爪 久美子（看護師）

後藤 靖（看護師）

リハビリテーション科 ～新しい風～

リハビリテーション科にこの春、一陣の涼風が吹き込みました。

以下、新任スタッフをご紹介します。（①氏名 ②職名 ③前任地 ④趣味 ⑤医療以外でやってみたい仕事）

- ①三浦 陽平
- ②作業療法主任
- ③仙台医療センター
- ④庭でBBQ『最近週末は七輪で焼き鳥を焼いています』
- ⑤上級官僚『日本を動かしてイイ暮らしをしたい』

- ①阿部 透
- ②理学療法士長
- ③旭川医療センター
- ④サッカー、ロードバイク、ソロキャンプ、ランニング、ボウダリング『身体を動かすこと全般大好きです』
- ⑤プラントハンター『観葉植物の珍奇植物が好きなので』

- ①太田 朋宏
- ②言語聴覚士
- ③なし
- ④ドライブ『行くあてもなく景色を眺めながら走るのが好きです』
- ⑤常に患者様から学び向上し続ける姿勢を持ったSTになりたいと考えています

- ①橋本 東一
- ②作業療法士
- ③福島病院
- ④サイクリング『毎日自転車に乗ってます』
- ⑤ねこカフェ『家でペットを飼えないので癒やされたい』



- ①佐々木 千波
- ②作業療法主任
- ③あきた病院
- ④山菜採り、ランニング
- ⑤仕事はないが、世界一周はしてみたい

以上、新しい布陣で一層質の高いリハビリを提供すべく頑張っております。

今後ともよろしくお願いたします。

（主任言語聴覚士 佐々木 結花）

連携室から

今回は障害年金について簡単に説明させていただきます。

障害年金は、病気やけがによって生活や仕事に支障がある場合に受け取ることができる年金です。初診日に国民年金の加入者であれば「障害基礎年金」が支給され、厚生年金の加入者であれば、障害基礎年金にプラスして「障害厚生年金」が支給されます。

また、障害年金を受給するためには下記の条件を満たしていなければなりません。

- ◎年金加入者であること
- ◎保険料を加入期間の3分の2以上納付していること
- ◎病気・ケガの初診日から「1年6か月経過した日」に、国の定める「障害認定基準」に該当していること

障害年金は、加入している年金や障害の程度、配偶者や子どもの有無によって受給額が異なりますので、詳しくは管轄の年金事務所へお問合せいただくか、かかりつけ医や医療相談員へご相談ください。

(医療社会事業専門員 木村 麻美)

NEW FACE 2021 頑張れ1年生!

8名の新人看護師を迎えスタートした令和3年度。コロナ禍の影響により十分な臨地実習とはいかなかった新人達です。看護技術の指導に時間を要するのではないだろうか、患者さんとの関わりが少なかった分、看護師に必須なコミュニケーションに不安があるのでは・・・。いやいや、そんな心配は杞憂に終わることとなりました。明るく一生懸命で謙虚な姿は毎年感じる新人看護師への印象ですが、加えて、今年度の8名はととてもとても勤勉です。臨地実習の不足を補おうとたくさん学習してきたのだということがわかります。勉強の仕方が分かっているので理解も早い印象です。採血や吸引の技術研修は緊張していましたが、これから患者さんに行っていく重要な技術なのだ真剣に取り組む姿に、頼もしさを覚えました。あれもこれももっと学びたいと言われ、担当者として嬉しい悲鳴をあげております。今後も、各配属病棟で成長する新人8名を支援していきたいと思っております。

(教育担当師長 内海 麻耶)



一生懸命頑張ります!!



診療科		曜日	月	火	水	木	金
脳神経内科 (新患は予約制)	新患		久永 欣哉	渡辺 靖章	宮澤 康一	松本 有史	高井 良樹 (第1・3)
	再来		永野 功	久永 欣哉	永野 功	久永 欣哉	久永 欣哉
内科			清野 仁	清野 仁	志澤 聡一郎	清野 仁	清野 仁
			志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	齊藤 秀行	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎
			齊藤 秀行	中川 孝			東北大学病院から
循環器内科	午前				加藤 浩	東北大学病院から	
	午後		東北大学病院から (検査日)				
呼吸器内科				佐野 寛仁			宍倉 裕
消化器内科	午後				県立がんセンターから (13:30~15:30) 第2・4週(木を基準)	県立がんセンターから (13:30~15:30) 第2・4週(木を基準)	
外科 (総合診療外科)	午前		八巻 孝之	八巻 孝之		八巻 孝之	
	午後			(手術日)		(手術日)	
アレルギー科	午前		堀川 雅浩		堀川 雅浩		堀川 雅浩
小児科	午前		堀川 雅浩		堀川 雅浩		堀川 雅浩
			東北大学病院から		東北大学病院から		東北大学病院から
整形外科	午後					県立がんセンターから (13:30~15:30)	
形成外科					舘 一史	澤村 武 渡部 紀久子 (隔週交替 13:30~15:30)	
皮膚科						東北大学病院から	
脳神経外科			仁村 太郎	安藤 肇史	仁村 太郎	(手術日)	安藤 肇史
				永松 謙一			
歯科			稲木 涼子	稲木 涼子	稲木 涼子	稲木 涼子	稲木 涼子
			中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子
専門外来	パーキンソン病外来		脳神経内科外来にて随時受け付け				
	頭痛外来		脳神経内科外来にて随時受け付け				
	もの忘れ外来		脳神経内科外来にて随時受け付け				
	ALS外来		脳神経内科外来にて随時受け付け				
	ふるえ外来		脳神経外科 (予約制)		脳神経外科 (予約制)		脳神経外科 (予約制)
	糖尿病外来					東北大学病院から	
	禁煙外来	午後					山本 詩子 (第2・4週)
	女性外来	午後					山本 詩子 (第2・4週)
	腎臓病外来	午後			若林病院から (第1・3週)		
	入れ歯外来				重光 竜二	伊藤 秀美	

受診される方へ

- ①受付時間は8:30~11:00です。
- ②土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。
ただし、**急患の方は随時受付いたします。**
お問い合わせ先 0223-37-1131
- ③初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に**2,750円を負担**していただくこととなりますので予めご了承ください。

交通のご案内

- 自動車でおいでの方
 - 仙台方面から
 - 仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線と6号線分岐点から南へ20km、国道6号線314.5kmポイント(標識)が目印です。高速道路ご利用の場合、常磐自動車道山元ICで降り、国道6号線を相馬方面へ南下。山元ICから約5km。
 - 相馬方面から
 - 国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。
- 交通機関をご利用の方
 - 仙台方面から
 - JR常磐線山下駅下車。タクシーまたは町民巡回バス利用。(詳しくはお問い合わせください)

